
Webページを活用した方言の学習

藤沢中学校

1 単元名 「そうなん」て何なん？（方言について考える）

2 単元の目標

本単元は、「方言」を切り口にして生徒たちが、自分たちの言葉を見直し、よりよい言語生活に生かしていくことを課題としてとらえさせたい。まず、いくつかの情報の中から、課題を自分のものとして受け止める（本時）。さらに課題解決のために、自ら情報を収集し、それらの情報をもとに、自らの考えをもち、さらにコミュニケーションによって、課題に対して、深い考えがもてることを目指していきたい。

子どもたちのコミュニケーション不足が語られている。本学級の生徒は、決してコミュニケーションがないわけではないが、「自分の本当の思いを相手に適切に伝えるように表現しようとしているか」という視点で考えると、コミュニケーション不足といえる。自分の思いを周りの人に分かってもらいたいという願いはもっているのであるが、表現するための言語能力が身に付いていなかったり、中には、相手を配慮しない不適切な発言によって、コミュニケーションの場を壊してしまう場面も見られる。また、「若者言葉」「日本語の乱れ」といわれている現象も、子どもたちの中に見られる。

このような生徒に、「方言」をひとつの切り口として、自分の言語生活を意識的に振り返らせたい。そして、その場にふさわしい「日本語」を適切に表現する態度を身につけさせたい。

また、パネルディスカッションの場面を設定し、根拠のはっきりした発言や、相手の立場を尊重した話し合いなどの技能を身につけさせていきたい。

3 指導計画の概要

- 方言についての情報から、自分たちが使っている言葉を振り返ろうとすることができる。各地の方言を調べてみる。
- 自分たちの言葉について調べてみる。
- パネルディスカッションを行う。

4 情報機器活用の意図・情報教育の視点

ここで紹介した授業は、インターネットのWebページを用いたものである。教科書教材を学習し、自分で設定したテーマに基づきWebページを検索し、資料を見つけ、その資料をもとに自分の考えをまとめていく。

Webページを用いることにより、その他の、たとえば図書資料等を用いることと比べて、一人一人が自分の資料に向かうことができ、自分の課題に主体的に取り組むことができた。生徒たちは多くの資料を発展的に引き出し、考えを深めることができた。

生徒が引き出す資料の質・考えの深まりは、教材文の読みとりの深さ・テーマの種類に大きく関わってくるであろう。今回取り上げた「戦争と平和・人権」は、適切であったと思われる。

Webページを情報として使う場合、その情報がどの程度信頼できるものであるか、分析処理し、自分に必要な情報を選び出す能力が必要となる。「URL教材データベースサーバ」を用い、生徒に提供するサイトをコントロールすることも可能だが、「生きる力」としての情報活用能力を考えた場合、このような能力を伸ばしていく工夫も必要となつてこよう。

5 成果・生徒の感想

生徒は、ふだん意識せずに使っている言葉が、方言（俚言）であることに気付き、驚き、興味を示した。Webページから流れる生の音声からは、各地の方言を実感することができたようである。そんな中で、自分が使っている言葉のどこまでが方言なのか？と考える生徒がでてきた。このような形で自分たちの言語生活を振り返るきっかけとし、さらに深めさせていきたい。






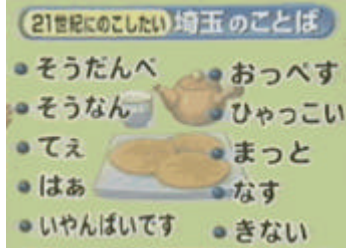
Webページから情報を得る

6 授業実践概要

(1) 本時の目標

「方言」について興味を深め、自分たちの言葉を考えるきっかけにすることができる。
与えられた情報をもとに、自らの意見を持ち、発表しあうことができる。

(2) 本時の展開

学習活動	学習内容	指導・援助と評価の 創意工夫	分
1 本単元のねらいを知る。	<ul style="list-style-type: none"> 方言について考える。 <div data-bbox="464 546 858 618" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 「そうなん」ってなんなん？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> 教師の体験を語る。 	5
2 「方言」についての情報を得る。 (1) CDから (2) インターネットから	<ul style="list-style-type: none"> 「春でえむん」「麗日」 「ふるさと日本の言葉」 http://www.nhk.or.jp/kotoba/index.html 	<ul style="list-style-type: none"> どうして方言を聞くと笑ってしまうのだろうか。 青森の方言の紹介 	20
3 私たちの使っている方言について考える。	<ul style="list-style-type: none"> 方言の良さに気付く。 「私たちはどんな方言を使っているだろうか」 だんべえ ・おっぺす なす 	<ul style="list-style-type: none"> 京都の方言の紹介 	20
4 寸劇を考え、演じる。	<ul style="list-style-type: none"> 「どんな場面で方言を使っているだろうか。」 班で話し合い、シナリオを創る。 3つくらいの班が発表する。 共通語に直すとどう変わるか考える。 自分たちが使っている言葉の良さに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> その土地らしさが伝わる。 埼玉のページを紹介する。 	5
5 自己評価をする。	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価カードを記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 教師が共通語で演じてみせる。 	5